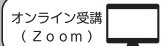
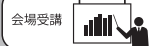


論理性に裏打ちされた説得力のある文章作成力を身につけたい方へ



説明上手になれる

「ロジカルライティング(論理的に書く)」の技術

～ビジネスにおいて説得力が増す“論理的な文章の書き方”を身につけます！～

と き 2025年 3月 11日(火) 9:30～16:30

開催形式 会場(中産連ビル 研修室) または オンライン(ZOOM配信)



対象者

● 説得力のある論理的な文章が書けるようになりたい方

研修のねらい

1. ロジカルで「相手が読みやすい文章」を書くテクニックを身につける
2. 「論理的で漏れ・ダブリがなく、簡潔明瞭で読み手が理解しやすい文章」を書く技術を身につける
3. 「論理的な文章が書けない苦手意識を払しょく」し、提案書・報告書・企画書の作成に活かす

ロジカルに書く技術を身につけると、文章の読みやすさ&説得力が一気に上がる！



- ✓ 一文が長く、何を伝えたいのかよく分からない、もう少し簡潔に書いて欲しいと言われる…。
- ✓ 文書での報告や提案に、論理の飛躍や不足があると言われる…。
- ✓ 説明不足だったり、一方で重複していたりする。伝えたいことをモレなくダブリなく書いて欲しいと言われる…。
- ✓ 相手にとって理解しやすく、論理的で読みやすい文章がなかなか書けるようにならない…。
- ✓ 自分が作成した文章に対し、上司から“読みにくい”“もう少し論理的に書いて欲しい”と言われることがあるものの、何を・どう改善するのが良いか正直分からないので困っている…。

皆さまは、ビジネス文書(提案書/報告書/議事録/メール等)を作成する際、このようなことを感じたことはありませんか？

◆ビジネス文書において、論理性が不足し、読みにくいと判断されることは致命傷になります。

ビジネス文書に必要な条件として、

- 一文の長さが適切(長すぎず短すぎない)。
- 文章が回りくどくない(冗長的でない)。
- 文章の中に漏れやダブリがない。
- 文体がコンパクトでインパクトもある。

これら4つの条件が必要条件ですが、4つの条件に共通して大切なことは「論理性」と「客観性」が文章内にきちんと担保されていることです。この2つが不足していると、その文章の説明力と説得力が大きく損なわれてしまいます。

実際、口頭で伝えることが苦手でも、ロジカルに書ける技術があれば、その欠点をしっかり補うことができます。近年、ITが企業社会に浸透されていくに伴い、文書(テキスト)でのコミュニケーション量がますます増えていることから、ロジカルライティング(論理的に書く)の技術はビジネスパーソンにとって優先順位が非常に高いビジネススキルになっています。

本研修では、「分かりやすくロジカルに伝わる文章の構造」、「ビジネスシーンにおける適切な日本語の使い方」、「具体化⇄抽象化による相手に合った伝える情報の解像度の調整力」といった“どう書くか”に焦点を当て、「説明・演習・解説」を交えて、受講者に腹落ちするように丁寧にサポートします。

「● とにかく文章を書くことが苦手…」 「● ロジカルに文章を書いているつもりなのに相手にうまく伝わらず、その理由が分からない…」 「● 相手から文章が読みにくいとよく指摘をされる…」 のように論理的に文章が書けずにお困りな方にとって大変即効性の高い研修です。

ぜひこの機会を有効にご活用ください。

◆ 研修プログラム (9:30～16:30)

1. オープニング

・「伝わらない」文章の悩みと解決への基本的考え方

2. ロジカル文書作成に役立つ基本の考え方 講義→演習

(1) 「情報を伝える文書」として適切な日本語の使い方

(2) ロジカルな文書と非ロジカルな文書を区別してみる

(3) G/P/Sの視点で情報の構造を発見する

(4) カテゴリー・ラベルとサマリー・ラベルの習慣づけ

(5) 長文は分解してラベリングする習慣をつける

(6) カテゴリー・ラベルの組合せは定型パターンになる

(7) 問題・目標・原因・施策のパターン

(8) 「課題」という用語には要注意

(9) 事実・解釈・方針・影響・メッセージ

(10) 主語・述語・目的語のパターン

(11) 入れ替え可能なラベルをつけてはいけない

(12) 新製品の紹介パターン

(13) 事故報告のパターン

(14) MECE&ロジックツリー

(15) フロー&コメントのパターン

(16) Goal・Problem・How-toパターン

(17) 機能・効果・目標のパターン

(18) 背景・問題・理想・方針のパターン

(19) ロジカル・コミュニケーションの5類型

3. 様々な文書の改善例題 演習→講師フィードバック

(1) 仕様説明の際

(2) 手順説明の際

(3) 障害報告の際

(4) 企画提案の際

(5) 進捗報告の際

講師

中産連パートナー講師 (ビジネス文書作成コンサルタント)

IT技術者として社内教育やプロジェクトマネジメントを経験。業務知識・スキル・経験が大きく乖離する社員が沢山いる中、伝えたい情報を皆同じレベルで理解してもらうためにどうしたらよいか試行錯誤を続け、複雑な情報を伝える際に「情報格差を生まないロジカルな書き方」を考案する。様々なビジネスシーンで活用したところ、社内やクライアントから高く評価され、業務効率化と大幅な生産性向上を実現させることに成功する。
このような経験を積み重ねた後、コンサルタントとして独立。現在は、全国の企業や官公庁で「伝わる書き方」、「ロジカルライティングの技術」、「ロジカル図解」、「ロジカルプレゼンテーション資料の作成」等の『ロジカルに書く技術』の指導を幅広く行い、実用性の高さに好評価を得ている。

説明上手になれる「ロジカルライティング(論理的に書く)の技術」(3／11) 参加要項 / 参加申込書

参加費 (1名様)

	中産連会員	中産連会員外
セミナー受講のみ	36,300円(消費税込)	41,800円(消費税込)
フォローアップ(事後行動支援)付き★	47,300円(消費税込)	52,800円(消費税込)

申込方法

●中産連ホームページの各セミナー詳細よりお申込みください。(https://www.chusanren.or.jp)

申込みが完了しますと、申込責任者のメールアドレスに「申込完了メール」が届きます。

●FAXでのお申込みも可能です。下記申込書に必要事項を記入の上、切り取らずに送信してください。

●フォローアップ(事後行動支援)を希望される方は下記申込書の欄に「レ」を入れてください。

※コンサルタント及び教育機関の方のお申し込みはお断りしております。ご了承ください。

受講までの流れ

<会場受講の場合>

受講票と請求書を開催日の約2～3週間前に申込責任者宛へ郵送します。

<オンライン受講の場合>

①開催日の約1週間前になりましたら、「参加用URL」「ミーティングID」「パスコード」をメールにてご案内します。

②テキストと請求書は開催日の約1週間前に申込責任者へ郵送します。

【オンライン受講の注意事項】

・配信システムはZoomを使用します。Zoomがインストールできるカメラ付きパソコンをご用意ください。また、イヤホン付きマイクのご使用を推奨します。

・接続が切れないよう有線のLAN環境での受講を推奨します。また、接続先環境に起因する音声・映像障害などについては保証しかねますのでご了承ください。

・IDを共有してのご利用や、画面を投影してのご利用など、参加者ご本人以外のご利用はお断りします。

・研修の撮影・録音は固くお断りします。

キャンセルについて

お客様のご都合によりキャンセルされる場合には、以下のキャンセル料を申し受けます。

・会 場 受 講 の 場 合 : 開催日の前日(土日祝日を除く)・当日・・・・・・・・受講料の100%

・オンライン受講の場合 : テキスト発送後(開催日の約1週間前)・・・・・・・・受講料の100%

※テキスト発送日はセミナーにより異なりますので下記担当者へご確認ください。

申込み・問合せ先

一般社団法人中部産業連盟 マネジメント研修事業部 小橋川

〒461-8580 名古屋市長区白壁3-12-13 TEL : 052-931-9824 e-mail : kohashikawa@chusanren.or.jp

会社名

〒

所在地

TEL

FAX

参加形態

フォローアップ
(事後行動支援)
を希望(✓)

参加者 所属部課・役職名

参加者氏名(フリガナ)

年齢

E-mail アドレス

☐ 会場

☐ オンライン

☐ 会場

☐ オンライン

申込責任者 所属部課・役職名

申込責任者氏名(フリガナ)

E-mail アドレス

会社概要

業種(主要製品名)

資本金

従業員数

今年ご記入いただく個人情報、セミナー等の運営・情報提供(郵便、メール、FAX等)に
おいてのみ使用致します。

詳細は当連盟HP(<http://www.chusanren.or.jp/privacy/index.html>)をご覧ください。
同意のうえ、ご協力をお願い致します。関連情報が不要の場合には下記にレ点のご記入をお願い致します。

☐ セミナーなどの関連情報の案内を希望しない

中部産業連盟会員(○印をお付けください)

会員 ・ 会員外

一般社団法人 中部産業連盟

中産連

FAX 0120-342-340

マネジメント研修事業部 小橋川 行
セミナーNo.4824